

# 学習指導案（番組を活用した授業例）

## 1 題材名「ハサミを使いこなそう」



## 2 本時のねらい

- ・ハサミを使うときのポイントについて知ることができる。
- ①背筋をのばして座る ②テーブルの上で作業する ③ハサミは親指を上にして持つ
- ④ワキをしめる ⑤ハサミを持っている手をからだの中心に置く
- ⑥ハサミの位置を変えずに紙を動かして切り進める ⑦使い終わったらハサミを閉じて保管する
- ⑧他の人にハサミを渡す時は、刃を向けずに柄を向けて渡す
- ・ポイントを意識しながら実際の活動に取り組む。

## 3 番組の活用について

- ・ハサミを使うときのポイントについて、楽しみながら学ぶ機会とすることができる。
- ・ハサミを使うときのポイントを意識しながら、手順に沿って実際に取り組むことができる。

## 4 本時の流れ

主な学習活動と内容（45分）	指導上の留意点
① 本時の学習内容を確認 <div style="border: 2px solid red; padding: 2px; display: inline-block; color: red; font-weight: bold;">ハサミを使いこなそう</div> ② ストレッチマン・ゴールドの視聴  ○番組を最後まで視聴する。	・児童が、学習の見通しをもてるように、本時の学習内容を視覚的に提示する。  ・視聴後、ハサミを使用するときのポイントについて確認することを伝える。
③ ハサミを使うときのポイントについて確認する ○番組を視聴して気づいたことや分かったことを発言したり伝えたりする。	・児童の気づきや理解を丁寧に受け止める。 ・番組内のポイントを文字・写真・イラスト等を併用しながら視覚的に分かりやすく提示する。
④ 「いろいろな線を切ってみよう」に取り組む ○ハサミを使うときのポイントを意識しながら、いろいろな線を切る活動に取り組む。 ○「一回切り」の細長い紙から始め、実態に応じて「連続切り」「直線」「曲線」「波線」「四角や丸などの図形」「大きさの異なる四角や丸などの図形」といったステップに合わせて取り組む。 ○活動の終了時間まで取り組み、ポイントを意識して教師にハサミを渡す。	・ステップに応じた台紙を準備する。 ・「一回切り」と「連続切り」、「直線」と「曲線」、など線の違いによるポイントを支援しながら、実態に応じて取り組めるようにする。 ・活動の終了時、ハサミを他の人に渡す際のポイントを意識して道具を片付けられるようにする。
⑤ 「ストレッチ」場面の動画を視聴する（6'34" から7'44" まで）  ○番組内のストレッチや手のひらのストレッチを行う。 ⑥ 本時の振り返りをする ○ハサミを使うときのポイントを再確認する。	・用具を使用した後に腕や手がほぐれるようにする。 ・先に提示したポイントを再度確認をする。各児童が取り組んだ様子について、いくつか取り上げ紹介してもよい。

## 5 評価

- ・番組で紹介されたハサミを使うときのポイントを意識しながら、活動に取り組むことができたか。（知識・技能）、（思考力・判断力・表現力等）